

令和7年度当初予算のポイント・主要事業

1 予算調製にあたっての基本的な考え方

地域連携・交通部では、「公共交通の確保・充実」「地域の振興」「スポーツの推進」「県南部地域の活性化」に向け、市町等との連携を進めつつ、部局横断的・総合的な視点による地域活性化に取り組んでいます。

令和7年度においては、公共ライドシェア（自家用有償旅客運送制度）などに基づく移動手段の確保や交通・物流事業者の運転士不足への対応に取り組むとともに、人口減少対策における社会減対策の1つである移住の促進に取り組みます。

また、選手等への支援や指導者の養成、第89回国民スポーツ大会の在り方検討とともに、県民の皆さんがスポーツにふれ親しむ機会の拡充に取り組みます。

さらに、豊かに暮らし続けられる南部地域づくりに向けた取組を進めるとともに、熊野古道の持続可能な保全と活用のための取組を進めます。

2 主な重点項目

(1) 公共交通の確保・充実

[交通政策課 (224-2622)]

[広域交通・リニア推進課 (224-2805)]

鉄道やバスなどの地域公共交通は、自家用車を持たない高齢者の買い物や通院、若者の通学等に必要不可欠な移動手段であり、その維持・確保に向けた取組を推進します。

地域における交通空白の解消に向けて、国（中部運輸局）とともに市町を訪問して交通課題の解決策を検討する場の開催や、交通事業者も交えた実務者レベルでの個別取組の検討など、市町における効果的な施策立案の伴走型支援を行うとともに、公共ライドシェア（自家用有償旅客運送制度）に基づく移動サービスの導入など、地域の実情に応じた取組に対して財政支援を行います。

さらに、JR関西本線（亀山～加茂間）の活性化のため、駅からの二次交通の充実や、観光列車の実証運行をはじめとする関西方面からの誘客を通じた利用促進等に、他府県とも連携しながら取り組むとともに、地域鉄道やバス路線などの維持・活性化に向け、引き続き、国や市町と協調し事業者を支援します。

リニア中央新幹線については、「三重県リニア基本戦略」が示す「めざす三重の姿」の実現に向け、リニア開業効果を県全体へ波及・発展させる具体的な施策や事業への展開を図るため、行動計画となる「みえリニア戦略プラン（仮称）」の令和8年3月の策定をめざすとともに、2037年全線開業の実現に向けた活動やリニアに対する一層の機運醸成に取り組めます。

また、バス・タクシーの運転士不足に対応するため、運転士就職イベントへ交通事業者と共同出展するとともに、二種免許取得費用や誰もが働きやすい職場環境づくりへの支援など交通事業者の運転士確保の取組を支援します。

物流については、トラック運転手の担い手不足や労働時間規制による輸送能力の不足等の課題に対応するため、国等の関係機関と連携・協力し、物流事業者の人材確保等の取組を支援するとともに、宅配の再配達削減に向けた取組を進めます。

<主な事業>

- | | |
|---------------------------------|---|
| ① (一部新) 地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業 | 予算額 130,000千円
(154,000千円 ※R6年度2月補正予算含みベース) |
| ② (一部新) 鉄道活性化促進事業 | 予算額 23,103千円 |
| ③ 鉄道利便性・安全性確保等対策事業 | 予算額 141,999千円 |
| ④ 伊勢鉄道基盤強化等対策事業 | 予算額 107,775千円 |
| ⑤ 地方バス路線維持確保事業 | 予算額 338,100千円 |
| ⑥ リニア中央新幹線関係費 | 予算額 27,801千円 |
| ⑦ (新) 運輸事業関係費<事業実施期間：令和7年度> | 予算額 15,000千円
(※R6年度2月補正予算) |

(2) 移住の促進

[地域づくり推進課 (224-2351)]

[移住促進課 (224-2420)]

移住希望者のニーズや特性に応じたモデルを設定し、それぞれにアプローチする様々なプロモーションにより、これまでの「田舎暮らし」に加え、県全域での移住を促進するとともに、県独自の移住フェアを名古屋、大阪に加え、新たに東京でも開催し、本県のさらなる認知度向上を図ります。また、オンラインコミュニティ「日々三重」での暮らし体験会や企業との連携による移住体験ツアーの実施により、三重暮らしの魅力をPRし、移住につなげていきます。

さらに、移住希望者の不安軽減や県内定着を図るため、市町などが実施するお試し住宅の整備や移住体験ツアーでの利用、県外からの移住者を対象とした空き家リフォーム費用への支援や、移住者と地域をつなぐ人材の育成などを行い、移住者の受入態勢の充実に取り組みます。あわせて、東京圏からの移住を後押しする移住支援事業について、引き続き、市町と連携し実施します。

地域おこし協力隊については、定住・定着の促進に向けて、隊員をサポートする中間支援組織と連携し、市町・隊員へのさらなる支援やサポート人材の育成等により、「募集・受入時」、「任期中」、「退任後」の各段階での支援体制の強化に取り組みます。

<主な事業>

- | | |
|----------------------------|--------------|
| ① (一部新) 移住促進事業 | 予算額 81,959千円 |
| ② (一部新) 移住者を受け入れる態勢の充実支援事業 | 予算額 45,429千円 |
| ③ 地域おこし協力隊サポート事業 | 予算額 8,436千円 |

(3) 競技スポーツの推進

[スポーツ推進課 (224-2985)]

[競技力向上対策課 (224-2996)]

滋賀国スポ（国民スポーツ大会）に向け、成年・少年選手の強化活動を支援するとともに、次代を担うジュニア・少年選手の発掘・育成や優れた指導者の養成に取り組みます。また、全国大会や国際大会での活躍をめざすパラアスリートの強化活動を支援します。

第89回国民スポーツ大会の在り方を検討するとともに、開催予定県との連絡調整、県内関係市町・団体との調整、協議等を行います。

県営スポーツ施設について、利用者がより安全・安心に利用できる環境を提供するため、「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿」サッカー・ラグビー場の大型映像装置の詳細設計や水泳場の空調熱源設備改修工事など、必要な整備を行うとともに、指定管理者と連携し、より良いサービスの提供に取り組みます。

<主な事業>

① 競技力向上対策事業	予算額	261,200千円
② 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備事業	予算額	1,267千円
③ 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業	予算額	674,649千円
④ 三重交通G スポーツの杜 伊勢事業	予算額	291,390千円

(4) 地域スポーツと障がい者スポーツの推進

[スポーツ推進課 (224-2986)]

[競技力向上対策課 (224-2996)]

三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて積み上げてきたレガシーを活用して、大規模大会等の誘致・開催や競技種目を定着させるための普及イベント等の実施に取り組む市町および競技団体等を支援します。

スポーツ人口の拡大や地域の活性化につなげるため、スポーツを通じて活躍する子どもたちやチーム等を支援します。

スポーツ推進月間のキックオフイベントとして、「みえのスポーツフォーラム」を開催します。また、総合型地域スポーツクラブの質的充実のため、専属のクラブアドバイザーを設置するとともに、体験会や地域別研修会を開催し、中学校部活動の地域連携・地域移行の促進を図ります。

子どもから高齢者まで幅広い県民の皆さんにさまざまなスポーツの場を提供するため、スポーツ推進月間を中心に、(一社)三重県レクリエーション協会や各競技団体等と連携して「みえスポーツフェスティバル」を県内各地域で開催します。また、令和8年4月の三重県誕生150周年に向けた機運醸成を図りつつ、市町等と連携し「第19回美し国三重市町対抗駅伝」を開催します。

<主な事業>

① レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業	予算額	75,000千円
② 地域のきらりスポーツ推進事業	予算額	61,958千円
③ 地域スポーツ推進事業	予算額	64,309千円
④ (一部新) 地域スポーツイベント開催事業	予算額	39,556千円

(5) 南部地域の振興

[南部地域振興企画課 (224-2192)]

[東紀州振興課 (224-2193)]

南部地域の活性化に向けて、地域への愛着・誇りの醸成や地域との関係性の継続、副業・兼業など多様で柔軟な働き方の創出、および地域内の人材育成と関係人口の深化・拡大等に取り組みます。

また、南部地域活性化基金を活用して、複数市町の連携による取組を支援し、地域の人びとが豊かに暮らし続けられる地域づくりを進めます。

令和6年度に世界遺産登録20周年を迎えた熊野古道伊勢路を活用し、Webサイトによる情報発信やイベント出展等、プロモーションによる誘客促進を図るとともに、二次交通の利便性向上に向けた実証運行や案内標識等の改修支援等、来訪者が安全・快適に歩くための観光インフラ整備を進めます。また、市町や関係団体等と連携し、「熊野古道サポーターズクラブ」や次世代を担う子どもたち等に保全体験や学習の機会を提供する等の取組により、持続可能な保全体制の構築をめざします。

<主な事業>

① 南部地域の企業・魅力体感事業	予算額	4,107千円
② (一部新) 南部の地域づくり連携推進事業	予算額	11,750千円
③ 南部地域における持続可能な第一次産業をめざして事業	予算額	5,085千円
④ 多様な人材が集う「賑わい」の維持・創出事業	予算額	10,509千円
⑤ 南部地域活性化基金支援事業	予算額	9,580千円
⑥ (一部新) 熊野古道活用促進事業	予算額	26,097千円
⑦ (一部新) Easy Access to 東紀州! プロジェクト推進事業	予算額	32,009千円
⑧ 東紀州地域集客交流推進事業	予算額	153,553千円

公共交通の確保・充実 ①

交通政策課 224-2622
広域交通・リニア 224-2805
推進課

- 地域における高齢者や若者等の移動手段の確保を図るため、市町の効果的な交通施策立案に向けたきめ細かな伴走型支援を行うとともに、地域の移動ニーズに応じて、公共ライドシェア（自家用有償旅客運送制度）に基づく移動サービス導入などへの財政支援を行い、交通空白の解消に向けた取組を進めます。

地域内交通の充実

（一部新）地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業 130,000千円（2月補正予算を含む額 154,000千円）

交通空白の解消に向けた取組の推進（125,300千円）

移動サービスの導入に向けた財政支援

- コミュニティバスの再編や、デマンド交通等の新たな移動サービス導入を「調査」から「実証」、「定着」まで切れ目なく支援
- 交通空白の解消に向けて、公共ライドシェア（自家用有償旅客運送制度）に基づく移動サービス導入を強力に推進

補助を拡充し、導入を促進

- 交通結節点における待合所などの乗継環境の整備を支援
- 地域の特性などの状況に応じて、交通ネットワークの構築に取り組む市町を重点支援



紀伊町おでかけ応援サービス「えかお」（公共ライドシェア）

市町への伴走型支援（4,700千円）

合同施策検討会の実施

- 国（中部運輸局）と県が市町を直接訪問し、地域交通の解決策を協議する検討会を開催
- 市町の課題を共有し、国の知見やノウハウを活用



● 「公共ライドシェア等導入支援チーム」（仮称）による支援

- 効果的な交通施策導入のため、個別取組の制度設計や法手続き等について、国、県、市町に加え、交通事業者も交えた実務者による支援チームで、具体的に検討
- 取組内容に応じて、公共ライドシェアの導入も検討

バス・タクシーの運転士不足への対応
（24,000千円）※ 2月補正予算

公共交通の確保・充実 ②

交通政策課 224-2622
広域交通・リニア 224-2805
推進課

- 通勤や通学など日常生活の移動手段である鉄道やバス路線の維持・活性化のため、市町等と連携して利用促進などに取り組むとともに、国や市町と協調して支援します。
- リニア中央新幹線の2037年全線開業の実現に向けて関係者と連携して取り組むとともに、行動計画となる「みえリニア戦略プラン（仮称）」の令和8年3月の策定をめざします。

広域交通ネットワークの構築

（一部新）鉄道活性化促進事業（23,103千円）

- 鉄道の維持・活性化のため、沿線自治体で構成する協議会において連携して要望活動や利用促進の取組を実施
- 新** JR関西本線（亀山～加茂間）の活性化のため、「関西本線活性化利用促進三重県会議」において、駅からの二次交通の充実や、観光列車の実証運行をはじめとする関西方面からの誘客を通じた利用促進等の取組を他府県とも連携し実施

鉄道利便性・安全性確保等対策事業（141,999千円）

- 鉄道事業者が実施する安全性・利便性の向上を図るための施設整備等について、国や沿線市町と協調して支援

伊勢鉄道基盤強化等対策事業（107,775千円）

- 伊勢鉄道（株）が実施する安全性・利便性の向上を図るための施設整備等について、国の補助金も活用して支援

地方バス路線維持確保事業（338,100千円）

- 地域間幹線系統バスの運行経費等に国と協調して補助を実施
- 県および市町の地域公共交通会議等において地域公共交通の活性化に向けた取組を実施



リニア中央新幹線関係費

（27,801千円）

- 「みえリニア戦略プラン（仮称）」の策定および必要な調査を実施
- 名古屋・大阪間の環境アセスの着実な推進と一日も早い全線開業の実現に向けた活動を実施
- リニアを中心とした新たな広域交通ネットワーク構築に向けた機運醸成の取組を実施



時速500kmのスピードでつながる
日本の新たな大動脈



令和6年度リニア建設促進
三重県期成同盟会総会

公共交通の確保・充実 ③

交通政策課 224-2622
広域交通・リニア 224-2805
推進課

- 深刻化するバス・タクシー運転士不足への対応として、交通事業者や市町と連携して運転士確保等の取組を進めます。
- トラック運転手の担い手不足や労働時間規制による輸送能力の不足等の課題に対応するため、物流事業者の人材確保等の取組を支援するとともに、宅配の再配達削減に向けた取組を進めます。

運転士不足への対応

バス・タクシー運転士



（一部新）地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業
（154,000千円のうち24,000千円【再掲】 ※2月補正予算）

- 都市部でのバス運転士専門の就職イベントにバス事業者と共同出展し、移住相談にもワンストップで対応
- 県内外から幅広く運転士を確保するため、県内交通事業者の採用にかかる情報に加え、事業者の魅力等も発信できる、WEB広告等を活用した情報発信の取組を実施
- 新** 交通事業者に対し、二種免許取得費用や誰もが働きやすい職場環境づくり等に係る取組への財政支援
- 各市町が取り組む自動運転の導入への支援



運転士就職イベントへの出展



自動運転バス



トラック運転手



【新】運輸事業関係費
（15,000千円※2月補正予算）

- 新** 物流事業者が実施する女性・外国人などの多様な人材の確保と活躍を促進するための取組を支援



- 新** 宅配荷物を玄関前などに届けるいわゆる「置き配」の普及・利用拡大を図るなど、再配達削減に向けた取組を推進



移住の促進

地域づくり推進課 224-2351
移住促進課 224-2420

- 人口減少対策における社会減対策の1つである移住の促進に向けて、移住者に実施したアンケートの分析をもとに、移住希望者のニーズや特性に応じたモデルによるプロモーションを実施し、「田舎暮らし」に加えて都市部を含む県全域への移住を促進します。
- 住まいの充実に取り組む市町等の支援や、移住者を受け入れる態勢をさらに充実させます。
- 地域おこし協力隊の定住・定着促進に向けた支援体制を強化します。

移住の促進と定住・定着に向けた取組の充実

(一部新) 移住促進事業 (81,959千円)

プロモーションの強化

新 移住希望者のニーズや特性に応じたプロモーションを実施

- ・SNSや雑誌掲載による様々な移住モデルに対応したアプローチ
- ・中京圏（仕事を变えない移住）に向けた名古屋駅等でのPR



駅のデジタルサイネージ

新 県独自の移住フェアを開催

- ・名古屋、大阪に加え、東京での県独自移住フェアを開催
- オンラインコミュニティ「日々三重」による移住希望者に向けた情報発信と交流の場の創出
- 移住スタイル別の移住体験会など企業と連携した取組を実施

相談対応の充実

- 移住相談窓口を中心としたきめ細かな相談対応を実施
- テーマや地域ごとのセミナー・相談会を対面やWEBで開催



移住相談会

(一部新) 移住者を受け入れる態勢の充実支援事業 インフラ（住まい）の整備 (45,429千円)

新 「三重県移住者の受入態勢充実支援事業補助金」による市町等への支援

- ・お試し住宅の整備に加え、体験ツアーでの利用を対象として拡充
- 県外からの移住者に対する空き家リフォーム費用を支援

受入態勢の充実

- 移住者と地域をつなぐ人材を各地に育成する講座を開催
- 東京圏から移住・就職した人等を対象に、市町と連携して移住支援金を支給

地域おこし協力隊サポート事業 (8,436千円)

定住・定着促進に向けた支援体制の強化

募集・受入時 隊員受入市町の課題分析・共有、助言・提案

任期中 隊員間のつながりづくりのための交流会を実施

退任後 定住に向けた相談体制の強化

- 隊員・市町職員向けの研修会を実施



地域おこし協力隊の交流会

競技スポーツの推進

スポーツ推進局
スポーツ推進課 224-2985
競技力向上対策課 224-2996

- 滋賀国スポ（国民スポーツ大会）に向け、成年・少年選手の強化活動を支援するとともに、次代を担うジュニア・少年選手の発掘・育成や優れた指導者の養成に取り組みます。
- 全国大会や国際大会での活躍をめざすパラアスリートの強化活動を支援します。
- 第89回国民スポーツ大会の在り方を検討します。
- 県営スポーツ施設について、利用者がより安全・安心に利用できる環境を提供するため、必要な整備を行います。また、指定管理者と連携し、より良いサービスの提供に取り組みます。

競技力の向上

競技力向上対策事業（261,200千円）

選手・チームの強化

- 国スポをはじめとする全国大会や国際大会で活躍できるよう、選手（成年、ジュニア・少年）・チームの強化活動を支援
 - チームみえ国スポ選手強化事業（129,504千円）
 - アスリートタレント発掘・育成事業（12,841千円）

指導者の養成

- 幅広い世代で指導者を養成し、一貫指導体制を構築
 - チームみえトップ指導者養成事業（15,047千円）

パラアスリートの強化

- 全国・国際大会で活躍できるパラアスリートの強化活動を支援
 - パラリンピック等選手強化指定事業（8,700千円）

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備事業

- 第89回国民スポーツ大会の在り方を検討 **（1,267千円）**



スポーツ施設の充実

三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業

（674,649千円）

- 施設の効率的・効果的な管理運営 378,981千円
- サッカー・ラグビー場の大型映像装置の詳細設計や水泳場の空調熱源設備改修工事など 295,668千円

三重交通G スポーツの杜 伊勢事業

（291,390千円）

- 施設の効率的・効果的な管理運営 102,549千円
- 第二陸上競技場の公認改修工事など 188,841千円



地域スポーツと障がい者スポーツの推進

スポーツ推進局
スポーツ推進課 224-2986
競技力向上対策課 224-2996

- 大規模大会等の誘致・開催、スポーツイベントの開催等に取り組む市町・競技団体等を支援します。
- スポーツを通じて活躍する子どもたちやチーム等を支援します。
- 三重県誕生150周年に向けた機運醸成を図りつつ、スポーツにふれ親しむ機会の拡充に取り組みます。
- 障がいの有無に関わらず、身近な地域でスポーツを楽しむことができる環境づくりや、障がい者スポーツに取り組む機会の充実、選手の発掘や支える人材の養成等に取り組みます。

地域スポーツの推進

レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業（75,000千円）

- 市町・競技団体等が実施する国際大会、全国大会等の大規模大会の開催やスポーツ教室の開催等に必要な経費を支援

地域のきらりスポーツ推進事業（61,958千円）

- スポーツ人口の拡大や地域の活性化につなげるため、スポーツを通じて活躍する子どもたちやチーム等を支援

地域スポーツ推進事業（64,309千円）

- スポーツ推進月間のキックオフイベントとして「みえのスポーツフォーラム」を開催
- 総合型地域スポーツクラブの質的充実のため、専属のクラブアドバイザーを設置するとともに、体験会や地域別研修会を開催し、中学校部活動の地域連携・地域移行を促進

（一部新）地域スポーツイベント開催事業（39,556千円）

- 県民の皆さんにさまざまなスポーツの場を提供するため、「みえスポーツフェスティバル」を県内各地域で開催
- 三重県誕生150周年に向けた機運醸成を図りつつ「第19回美し国三重市町対抗駅伝」を開催



▲国際大会の開催



▲みえスポーツフェスティバル



▲美し国三重市町対抗駅伝

障がい者スポーツの推進

障がい者スポーツの裾野の拡大 【子ども・福祉部】 （60,324千円）

- 「三重県障がい者スポーツ支援センター」において、県民・企業等からの相談対応、SNS等を通じた情報発信、障がい者スポーツ団体と企業等のニーズのマッチング
- 選手の発掘に向けた初心者講習会、指導員の養成研修の実施
- 競技団体の遠征費の補助 など



▲三重県障がい者スポーツ支援センターホームページ

南部地域の振興

南部地域振興局
南部地域振興企画課 224-2192
東紀州振興課 224-2193

- 「三重県南部地域振興プラン」の3つの取組方向に基づき、南部地域への愛着・誇りの醸成や地域との関係性の継続、副業や兼業など多様で柔軟な働き方の創出、および地域内の人材育成と関係人口の深化・拡大等に取り組みます。
- 南部地域活性化基金を活用して、複数市町の連携による南部地域の活性化に向けた取組を支援します。

- 世界遺産熊野古道伊勢路を良好な状態で保全するとともに、来訪者が安全・快適に歩けるよう、案内標識、トイレ等の観光インフラ整備を総合的に支援します。
- プロモーションによる誘客促進、各峠等へのアクセス改善のための二次交通の調査・実証運行等を実施します。

南部地域活性化基金を活用した取組等

南部地域の企業・魅力体感事業（4,107千円）

- 南部地域外へ進学・就職した若者を対象とした、南部地域の企業見学および地域で活躍している方々との交流バスツアーを実施

（一部新）南部の地域づくり連携推進事業（11,750千円）

- 県土整備部と連携し、空き家の非住宅（店舗等）への改修費及び除却費を支援
- 農林水産部と連携し、担い手確保に向けた労働環境の整備に必要な機械・設備の導入を支援

南部地域における持続可能な第一次産業をめざして事業（5,085千円）

- 南部地域における多様で柔軟な働き方の確立に向け、スポットワークの利用促進のための実証事業を実施

多様な人材が集う「賑わい」の維持・創出事業（10,509千円）

- 農林水産業の作業体験や地域の伝統行事への参加などをきっかけにした関係人口の創出

南部地域活性化基金支援事業（9,580千円）

- 若者の定着・人口還流や地域産業の活力向上、賑わいのある南部地域に向けた事業に連携して取り組む市町を支援



みかんの収穫体験による関係人口の創出

熊野古道の未来への継承と活用

（一部新）熊野古道活用促進事業（26,097千円）

- 市町、保全団体が実施する保全活動や案内標識整備に係る事業を支援
- 情報発信やイベント出展等、国内外に向けたプロモーションを展開
- 熊野古道サポーターズクラブの活動や熊野古道一斉クリーンアップ作戦、次世代を担う子どもたち等を対象とした保全体験活動等を実施

（一部新）Easy Access to東紀州！プロジェクト推進事業（32,009千円）

- 熊野古道来訪時における二次交通の利便性を向上させるためのアクセスバスを運行するとともに、新たにタクシー事業者を活用した調査・実証事業を実施

東紀州地域集客交流推進事業（153,553千円）

- 熊野古道センターの開館以後の社会環境の変化をふまえ、開館20周年を機に、常設展示のリニューアルを実施

持続可能な観光地づくり ※観光資源活用推進事業（観光部）の一部

観光客受入環境整備事業（20,000千円）

- 熊野古道伊勢路沿線の市町が管理するトイレの洋式化・高機能化を支援



案内標識の整備



熊野古道アクセスバス

3 その他の主要事業

政策名、施策名および事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>《政策名：地域づくり》</p> <p>〈施策名：(9-1)市町との連携による地域活性化〉</p> <p>1 持続可能な地域コミュニティづくり推進事業 2,304千円 【(9-1-1)市町との連携・協働による地域づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の仕組みを活用し、住民が主体となった地域のコミュニティづくりがより多くの地域に広がるよう取り組むとともに、将来の担い手となる若者を育てるため、地域づくり団体等において地域活動を体験する機会を提供し、若者が地域づくりの経験を積む取組を進めます。</p> <p>2 市町振興事務費 5,941千円 【(9-1-2)市町行財政運営の支援】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 2 市町振興費) 市町が今後も安定的な行財政運営を継続的に行うことができるよう、地方行財政制度の適正な運用に加え、行財政運営の改善につながる取組についても、「市町と県との勉強会」を開催するなど、必要な支援を行います。</p> <p>3 木曾岬干拓地整備事業 329,821千円 【(9-1-3)木曾岬干拓地等の利活用の推進】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 伊勢湾岸自動車道以南の都市的土地利用の方向性に基づく利用策を検討するとともに、道路等の基盤整備に向けて関係者との調整や設計等を進めます。</p> <p>4 特定振興地域推進事業 28,029千円 【(9-1-3)木曾岬干拓地等の利活用の推進】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 大仏山地域に整備した散策路等を適切に維持管理し、利用促進に取り組めます。また、宮川の流量回復については、宮川ダム直下から三瀬谷ダム間において、関係者から要望がある河川環境等について引き続き調査を進めるとともに、関係者等との意見交換を継続しながら、より良い流況に向けて取り組めます。</p>	<p>地域づくり推進課 (224-2351)</p> <p>市町行財政課 (224-2171)</p> <p>水資源・地域プロジェクト課 (224-2419)</p> <p>水資源・地域プロジェクト課 (224-2419)</p>

政策名、施策名および事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>5 奥伊勢湖環境保全対策協議会負担金 5,000 千円 【(9-1-3) 木曾岬干拓地等の利活用の推進】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 奥伊勢湖環境保全対策協議会に参画し、奥伊勢湖の豊かな自然環境を守るための活動を支援します。</p>	<p>水資源・地域プロジェクト課 (224-2010)</p>
<p>6 (一部新) 地域活性化支援事業 5,718 千円 【(9-1-4) 過疎地域等における地域づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 過疎地域等の市町が実施する住民の身近な生活課題を解決するための取組や地域活性化のための取組に対し補助金を交付するとともに、集落支援員のスキルアップ研修を実施します。また、令和7年度末で「三重県過疎地域持続的発展方針」および「三重県過疎地域持続的発展計画」の実施期間が終了することから、改定作業を行います。</p>	<p>地域づくり推進課 (224-2351)</p>
<p>7 離島航路支援事業 52,069 千円 【(9-1-4) 過疎地域等における地域づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 離島住民の生活基盤の安定化と離島の自立的発展を促すため、離島航路事業者の実質欠損額に対して支援を行い、航路の維持・確保を図ります。</p>	<p>南部地域振興企画課 (224-2192)</p>
<p>〈施策名：(9-3)南部地域の活性化〉</p>	
<p>1 南部地域活性化基金積立金 47,175 千円 【(9-3-1) 豊かに暮らし続けられる南部地域づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 南部地域振興プランの実現に向け、複数市町が連携して取り組む事業を支援するとともに、関係部局と連携した事業を実施するため、基金に積み立てを行います。</p>	<p>南部地域振興企画課 (224-2192)</p>
<p>2 ファンとともに南部地域の観光資源PR事業 3,282 千円 【(9-3-2) 地域住民のチャレンジによる地域の活力向上】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 地域の人びとが、ファン・マニアとともに南部地域の特色ある地域資源を観光コンテンツとして磨き上げるプロセスを通して、地域に対する愛着醸成を図るとともに地域の活性化に取り組みます。</p>	<p>南部地域振興企画課 (224-2192)</p>

政策名、施策名および事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>〈施策名：(9-4)東紀州地域の活性化〉</p> <p>1 東紀州地域振興推進事業 14,946千円 【(9-4-1) 地域資源を生かした持続可能な地域社会づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 東紀州地域の活性化を図るため、市町をはじめとする関係団体と連携を図りながら、観光振興、産業振興等の面から総合的に地域づくりを推進する一般社団法人東紀州地域振興公社の取組に対し支援を行います。</p> <p>2 選ばれる東紀州地域を目指して産業活性化支援事業 6,568千円 【(9-4-1) 地域資源を生かした持続可能な地域社会づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 地域の資源を生かした商品のブランド力強化や高付加価値化、販路拡大、地域特産品の情報発信など、地域産業の活性化を促進するための基盤づくり等の取組を支援します。</p>	<p>東紀州振興課 (224-2193)</p> <p>東紀州振興課 (224-2193)</p>
<p>《政策名：交通・暮らしの基盤》</p>	
<p>〈施策名：(11-2)公共交通の確保・充実〉</p> <p>1 航空関係費 45,653千円 【(11-2-2) リニア開業時の県内広域交通網の確保・充実に 向けた取組の推進】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費) 中部国際空港利用促進協議会や関西国際空港全体構想促進協議会等の活動を通じ、両空港や空港アクセスの利用促進・利便性向上に取り組むとともに、令和6年度に国の新規事業に採択された中部国際空港の代替滑走路整備に向けた取組を支援します。</p>	<p>広域交通・リニア推進課 (224-2805)</p>
<p>〈施策名：(11-4)水の安定供給と土地の適正な利用〉</p> <p>1 工業用水道事業会計出資金 326,254千円 【(11-4-1) 水資源の確保と水の安全・安定供給】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 5 資源対策費) 県勢振興のために確保している水源の工業用水に係る管理費等について、一般会計から工業用水道事業会計に出資します。</p>	<p>水資源・地域プロジェクト課 (224-2010)</p>

政策名、施策名および事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>2 地籍調査費負担金 443,674 千円 (500,760 千円 ※R6 年度 2 月補正予算含みベース) 【(11-4-2) 適正な土地の利用および管理】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 5 資源対策費) 土地取引の円滑化や土地資産の保全、災害復旧の迅速化等に資するため、地籍調査を実施する市町に対して、その取組を支援します。</p>	<p>水資源・地域 プロジェクト 課 (224-2010)</p>
<p>《政策名：文化・スポーツ》</p>	
<p>〈施策名：(16-2) 競技スポーツの推進〉</p>	
<p>1 国民スポーツ大会派遣事業 106,865 千円 【(16-2-1) 競技力の向上】 (第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 1 スポーツ推進費) 国民スポーツ大会および東海ブロック大会に、本県代表選手・監督等を派遣します。</p>	<p>競技力向上対 策課 (224-2996)</p>
<p>2 ドリームオーシャンスタジアム事業 27,285 千円 【(16-2-3) 安全、快適なスポーツ施設の提供】 (第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 2 スポーツ施設費) 指定管理者制度に基づいて、効率的・効果的な管理運営やサービスの充実を図るとともに、熱中症対策用の冷風機の整備など、安全、快適に利用できる環境の整備を行います。</p>	<p>スポーツ推進 課 (224-2985)</p>
<p>3 県営ライフル射撃場事業 4,478 千円 【(16-2-3) 安全、快適なスポーツ施設の提供】 (第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 2 スポーツ施設費) 指定管理者制度に基づいて、効率的・効果的な管理運営やサービスの充実を図ります。</p>	<p>スポーツ推進 課 (224-2985)</p>